

## 国際機関邦人職員人事（2013年度JPO派遣候補者選考試験・募集要綱）

今般、日本の外務省国際機関人事センターは、2013年度のJPO派遣候補者選考試験を下記2の概要で実施し、4月1日（月）から募集を開始するとして、同センターのホームページ（<http://www.mofa-irc.go.jp/>）に募集要綱他関連資料を掲載しましたので、お知らせいたします。

なお、応募用紙（上記ホームページよりダウンロードできます）の提出にあたっては、直接外務本省（国際機関人事センター）宛に郵送などにより送付をお願いいたします（万が一、当館に応募用紙が提出された場合でも、応募用紙原本を応募者の方へ返却させていただきますので、ご了承をお願いいたします）。また、応募用紙の提出締め切りは、5月17日（金）（17:00外務本省必着）としております。その日時までに到着したもののみを審査対象として受け付けることとしておりますところ、念のためお知らせいたします。

### 1 JPO派遣制度の概要

外務省では、国際機関での勤務を志望する若手邦人を対象に、我が方が派遣に係る経費を負担し、一定期間（原則2年間）各国際機関で職員として勤務させ、国際機関における正規職員となるために必要な知識・経験を積む機会を提供する目的で、JPO派遣制度を実施している。

主要な国際機関の専門職以上の邦人職員数は、2001年～2012年の間に約1.6倍（485人から765人）となっているが、このうち、上記JPO派遣制度で派遣され、その後国際機関の職員となったJPO経験者数は約2倍（164人から330人）に増加している。

また、2012年1月現在では、例えば、UNHCR、UNICEF、WFP、UNDPの専門職以上の邦人職員のうち、それぞれ、85%（58人中49人）、77%（69人中53人）、67%（39人中26人）、61%（71人中43人）をJPO経験者が占めており、JPO派遣制度は、国際機関における邦人職員増強のための重要な手段と認識している。

### 2 2013年度（平成25年度）募集要綱の概要

#### （1）応募資格

ア 年齢：2013年4月1日現在35歳以下の者

イ 経歴：外務省として派遣可能な国際機関に関連する分野における大学院修士課程を既に修了したか、または2013年8月末までに修了予定であって、当該分野に

関連する職種において2013年4月1日時点で2年以上の職務経験を有すること

- ウ 語学：英語で職務遂行が可能であること
- エ 将来にわたり国際機関で働く意思を有すること
- オ 日本国籍を有すること

(2) 選考方法

ア 第1次審査（書面審査）

応募資格要件に合致し、さらに国際機関において求められる人材であるか否かを、  
予め書面によって審査する。

イ 第2次審査（面接審査及び英語の筆記試験）

東京において実施する。

(3) 募集期間

2013年4月1日（月）～2013年5月17日（金）（17：00本省必着）

(4) 派遣開始時期

最終結果発表から2014年3月31日まで

以上